

大阪・関西万博の環境影響評価に係る「市長意見」に基づく  
ロードマップ（鳥類の生息・生育環境への配慮）等についての環境 NGO の評価・説明会

私たち環境 NGO 5 団体※は、「博覧会協会が実施する鳥類の生息・生育環境に関する配慮事項をテーマとした共同検討」の場で、博覧会協会に対し、保全策を提案し、意見交換を行ってきました。そして、博覧会協会は、その検討結果を昨年 12 月 13 日に公表しました。

しかし、その内容は、私たちの提案は取り入れられず、環境アセスメントに関する「大阪市長意見」でも求められている保全策としても、まったく不十分なものと言わざるを得ません。

特に、博覧会期間中に整備される「静けさの森」「つながりの海」や鳥類の生息に配慮する空間についても、万博閉幕後は、更地として大阪市に返還されるため、万博開催のレガシーは何も残らず、世界的にもとめられているネイチャーポジティブと逆行するものとなっています。

この問題について私たちは、昨年 12 月 13 日にプレスリリースをし、12 月 23 日には大阪市政記者クラブで記者会見も行いましたが、残念ながら報道される事はありませんでした。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる万博で、多様な鳥類、希少な植物に対する環境の保全・創出と言うレガシーが残されず、大阪市によってもレガシーを継続発展させて行く内容が、現時点で示されていない姿は、極めて残念であると考えます。

そこで、この問題を少しでも多くの方々に知って頂く事を目的に、以下の内容の説明会を企画しました。是非ご参加をお待ちしております。

※：環境 NGO 5 団体

日本自然保護協会（NACS-J）、自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）、日本野鳥の会、大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか）、日本野鳥の会大阪支部

記

1. 日時 2025 年 1 月 31 日（金）19:00～20:30
2. 会場 Zoom 会議（下記より事前登録願います）
3. 共催 大阪自然環境保全協会、日本野鳥の会大阪支部、SDGs 万博市民アクション
4. 内容 内容

<報告者>

垣井 清澄（大阪自然環境保全協会・夢洲生きもの調査グループ）

納家 仁（日本野鳥の会大阪支部・支部長）

<タイムスケジュール>

19:00 開会（司会による趣旨説明）

19:05 報告「大阪・関西万博の環境影響評価に係る「市長意見」に基づくロードマップ（鳥類の生息・生育環境への配慮）等についての環境 NGO の評価」

19:40 紹介「大阪湾岸に生物多様性豊かな干潟・湿地を取り戻すための共同宣言」

20:00 意見交流

20:30 閉会

5. 申込み

タイトル「大阪万博アセス評価・説明会」とし、「所属、氏名」を記載の上、次に送信して下さい。

[2025-yumesima@jinenjo.org](mailto:2025-yumesima@jinenjo.org)

問合せは、大阪自然環境保全協会（夢洲生きもの調査グループ：垣井清澄） [kzk@iris.eonet.ne.jp](mailto:kzk@iris.eonet.ne.jp)

以上